

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2022年10～12月期実績、2023年1月～3月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体は売上額D I が好転、採算D I、資金繰りD I が低下

今期の産業全体の景況は、売上額D I が $\Delta 11.2$ となり、対前期比で5.6ポイント好転した。採算D I が $\Delta 42.9$ 、資金繰りD I が $\Delta 23.1$ となり、対前期比でそれぞれ1.1ポイント、2.8ポイント低下した。

次期の産業全体の景況は、売上額D I は悪化、採算D I、資金繰りD I は好転の見通しである。

産業全体の主要3D I の対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 11.2$ （対前期比 5.6好転） 次期予想 $\Delta 13.5$ （対前期比 $\Delta 2.3$ 悪化）
- ・採算D I $\Delta 42.9$ （対前期比 $\Delta 1.1$ 低下） 次期予想 $\Delta 36.7$ （対前期比 6.2好転）
- ・資金繰りD I $\Delta 23.1$ （対前期比 $\Delta 2.8$ 低下） 次期予想 $\Delta 14.6$ （対前期比 8.5好転）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2022年1月～3月		$\Delta 31.2$ 		$\Delta 43.0$ 		$\Delta 27.7$ 
2022年4月～6月		$\Delta 15.2$ 		$\Delta 39.2$ 		$\Delta 17.7$ 
2022年7月～9月		$\Delta 16.8$ 		$\Delta 41.8$ 		$\Delta 20.3$ 
2022年10月～12月		$\Delta 11.2$ 		$\Delta 42.9$ 		$\Delta 23.1$ 
2023年1月～3月 （見通し）		$\Delta 13.5$ 		$\Delta 36.7$ 		$\Delta 14.6$ 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業はすべての指標が好転

製造業では、売上額D Iは△11.4、売上額D Iは△45.7、資金繰りD Iは△22.9となり、対前期比でそれぞれ22.9ポイント、14.3ポイント、2.8ポイント好転した。次期は、売上額D Iは悪化、採算D Iは横ばい、資金繰りD Iは上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △11.4 (対前期比 22.9 好転) 次期予想 △22.9 (対前期比 △11.5 悪化)
- ・採算D I △45.7 (対前期比 14.3 好転) 次期予想 △45.7 (対前期比 0.0 横ばい)
- ・資金繰りD I △22.9 (対前期比 2.8 好転) 次期予想 △14.2 (対前期比 8.7 上昇)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2022年1月～3月		△14.3 		△23.5 		△23.6 
2022年4月～6月		8.8 		△26.5 		△8.8 
2022年7月～9月		△34.3 		△60.0 		△25.7 
2022年10月～12月		△11.4 		△45.7 		△22.9 
2023年1月～3月 (見通し)		△22.9 		△45.7 		△14.2 

(2) 建設業

建設業はすべての指標が悪化

建設業では、売上額D Iが△7.7、採算D Iが△42.3、資金繰りD Iが△15.4となり、対前期比でそれぞれ15.7ポイント、17.3ポイント、7.4ポイント悪化した。

次期は、売上額D Iが横ばい、採算D I、資金繰りD Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △7.7 (対前期比 △15.7 悪化) 次期予想 △7.7 (対前期比 0.0 横ばい)
- ・採算D I △42.3 (対前期比 △17.3 悪化) 次期予想 △15.4 (対前期比 26.9 好転)
- ・資金繰りD I △15.4 (対前期比 △7.4 悪化) 次期予想 △7.7 (対前期比 7.7 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2022年1月～3月		△11.6 		△32.0 		△11.6 
2022年4月～6月		△23.1 		△46.2 		△11.6 
2022年7月～9月		8.0 		△25.0 		△8.0 
2022年10月～12月		△7.7 		△42.3 		△15.4 
2023年1月～3月 (見通し)		△7.7 		△15.4 		△7.7 

(3) 小売業

小売業は売上額D Iが上昇、採算D I、資金繰りD Iが悪化

小売業では、売上額D Iが $\Delta 23.9$ となり4.4ポイント上昇した。採算D Iが $\Delta 47.8$ 、資金繰りD Iが $\Delta 26.1$ となり、対前期比でそれぞれ8.7ポイント、2.2ポイント悪化した。

次期は、売上額D Iが上昇、採算D I、資金繰りD Iが好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 23.9$ (対前期比 4.4 上昇) 次期予想 $\Delta 8.7$ (対前期比 15.2 上昇)
- ・採算D I $\Delta 47.8$ (対前期比 $\Delta 8.7$ 悪化) 次期予想 $\Delta 28.3$ (対前期比 19.5 好転)
- ・資金繰りD I $\Delta 26.1$ (対前期比 $\Delta 2.2$ 悪化) 次期予想 $\Delta 8.7$ (対前期比 17.4 好転)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2022年1月～3月		$\Delta 41.3$ 		$\Delta 50.0$ 		$\Delta 30.4$ 
2022年4月～6月		$\Delta 31.1$ 		$\Delta 40.0$ 		$\Delta 28.9$ 
2022年7月～9月		$\Delta 28.3$ 		$\Delta 39.1$ 		$\Delta 23.9$ 
2022年10月～12月		$\Delta 23.9$ 		$\Delta 47.8$ 		$\Delta 26.1$ 
2023年1月～3月 (見通し)		$\Delta 8.7$ 		$\Delta 28.3$ 		$\Delta 8.7$ 

(4) サービス業

サービス業は売上額D I が好転、採算D I が上昇、資金繰りD I が低下

サービス業では、売上額D I が△4.2となり、対前期比で5.4ポイント好転した。採算D I が△38.6となり、対前期比で1.7ポイント上昇した。資金繰りD I が△24.2となり、対前期比で4.7ポイント低下した。

次期は、売上額D I、採算D I が悪化、資金繰りD I が好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △4.2 (対前期比 5.4 好転) 次期予想 △14.1 (対前期比 △9.9 悪化)
- ・採算D I △38.6 (対前期比 1.7 上昇) 次期予想 △45.7 (対前期比 △7.1 悪化)
- ・資金繰りD I △24.2 (対前期比 △4.7 低下) 次期予想 △21.4 (対前期比 2.8 好転)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2021年10月～12月		△40.3 		△40.3 		△11.1 
2022年1月～3月		△40.3 		△51.4 		△33.8 
2022年4月～6月		5.5 		△42.3 		△16.9 
2022年7月～9月		△9.6 		△40.3 		△19.5 
2022年10月～12月		△4.2 		△38.6 		△24.2 
2023年1月～3月 (見通し)		△14.1 		△45.7 		△21.4 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	11.8%	生産設備、車両運搬具	2.9%	生産設備、OA機器
建設業	0.0%	——	11.5%	建設機械、OA機器、 車両運搬具、福利厚生施設
小売業	6.5%	販売設備、車両運搬具 その他	8.7%	土地、店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設
サービス業	9.9%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	12.7%	建物、サービス 付帯施設、OA機器

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	58.1%
	2位	需要の停滞	16.1%
	3位	製品ニーズの変化	9.7%
		生産設備の不足・老朽化	9.7%
建設業	1位	材料価格の上昇	56.5%
	2位	人件費の増加	8.7%
		従業員の確保難	8.7%
		民間需要の停滞	8.7%
小売業	1位	仕入単価の上昇	36.4%
	2位	需要の停滞	15.9%
	3位	消費者ニーズの変化	11.4%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	41.9%
	2位	需要の停滞	19.4%
	3位	利用者ニーズの変化	9.7%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2022年10月から12月までの第3四半期を対象とし、調査時点は2022年11月15日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内178企業。(内訳：製造業35企業、建設業26企業、小売業46企業、サービス業71企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0~△60.1	 曇 △ 60.0~△20.1	 薄曇 △ 20.0~20.0	 晴れ 20.1~60.0	 快晴 60.1~100.0
---	---	---	---	--

令和4年12月21日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041